

補助事業番号 22-1-036
補助事業名 平成 22 年度 日本文化の普及補助事業
補助事業者名 社団法人 日本放送作家協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本の大切な文化の一つ「放送」の根幹をなす脚本・台本の収集保存を進め、「放送文化」として後世に残すため、さまざまなジャンルの専門家からその技術を学び、「脚本・台本のアーカイブ(収集保存)技術」を確立するための研究を行う。

また、脚本・台本の収集保存の意義について、インターネットやメールマガジン、イベント等を通じて広く啓蒙活動を行う。

(2) 実施内容

ア)「データ入力」- 東京都足立区の「日本脚本アーカイブズ準備室(日本放送作家協会)」にて、収集した脚本・台本の書誌情報をデータ入力、また保存用中性紙保管箱を購入し、効率的な保存を行う。

アーカイブ事業の専門家(学芸員・研究者)を講師に迎えた勉強会を実施する。

イ)「ホームページ」事業 - 日本放送作家協会の脚本・台本の収集保存事業を PR するため、「日本脚本アーカイブズ」のホームページを開設。委員会の活動ならびに脚本・台本収集の意義等について啓蒙活動を行う。また、同趣旨でメールマガジンを毎月 1 回発行。

ウ)「脚本展」事業 ・「シンポジウム」開催

① H22 年 4 月 6 日～18 日・江戸東京博物館にて

脚本展「ザ・脚本～放送作家たちの 80 年」を開催。80 ほど前の台本から年代順に、歴史に残る名作を展示。

「殺陣パフォーマンス」を実施し脚本のビジュアル化のあり方を啓蒙する。

② H22 年 11 月 13 日～21 日・北海道立文学館にて

放送作家協会・北海道支部と共に脚本展を開催。北海道の地元の特性を生かした作家展を含め、脚本・台本保存の重要性を啓蒙。新聞・テレビ 5 局から取材を受けた。

③ H22 年 10 月 9 日～10 日・足立区中央図書館「学びピア 2 1」にて

「あだちサークルフェア」に参加。脚本を展示すると共に台本の修復実演を行った。また「殺陣パフォーマンス」も実施。

④ H22 年 11 月 2 日・足立区芸術センターにて

シンポジウムを開催。「文化のリサイクル」について論じ、脚本アーカイブの重要性を啓蒙。

⑤ H23 年 1 月 21 日～25 日・日大芸術学部江古田キャンパスにて

放送学科のスタジオにて、脚本展を開催。

2. 予想される事業実施効果

古い脚本の収集保存を行うことで、大切な日本文化を後世・次世代の担い手たちに残す。ホームページ、メールマガジンで日本放送作家協会のアーカイブ活動に理

解と興味を持ってもらう。また、脚本展を訪れた一般の人たちに、昔見たテレビ番組の脚本を実際に目の当たりにしてもらうことにより「脚本・台本を収集保存することの文化的意義」を広く認識してもらう。

本事業により、平成23年5月18日、文化庁と国立国会図書館の間で協定が結ばれた。内容は「放送台本・脚本を次世代に継承すべき貴重な資料を位置付け収集保存を検討する」というもの。今後は活動を公的機関に移管もしくは連携させ、より発展した形で日本文化の普及活動に資するものと考えられる。

3. 本事業により作成した印刷物等

- ・ A4 サイズパンフレット「文化はめぐる」
- ・ 日本放送作家協会脚本展ポスター&チラシ
- ・ A4 サイズ「メールマガジン収録冊子」
- ・ シンポジウム採録冊子「文化はめぐる」

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名: 社団法人 日本放送作家協会

(シャダンハウジン ニホンハウソウサッカキョウカイ)

住 所: 107-0052

東京都港区赤坂 2-9-2 ウェイタワーズ 501

代表者名: 理事長 秋元 康(リジチョウ アキモト ヤスシ)

担当者名: 常務理事 田中 格(ジョウムリジ タナカ イタル)

電話番号: 03-3568-2276

F A X : 03-3568-2889

E -mail: info@hosakkyo.jp

U R L: <http://www.hosakkyo.jp/>